

# 「マクロ経済学」試験解答用紙

(担当者名：蓮見 亮)

採点欄

2014年5月29日(木) 18:20~19:20 施行		100
・試験時間 60 分、解答用紙全 2 ページ ・問題用紙別 ・持ち込み不可 ・電子機器は電卓のみ使用可	学生証番号	
	氏 名	

**問 1. 解答例 (別解もあり)、自明な順不同は省略 配点各 2 × 15**

問 1

(ア) 生産性	(イ) 技術知識	(ウ) 物的資本	30
(エ) 貯蓄	(オ) 失業者	(カ) 労働力	
(キ) 交換手段	(ク) 計算単位	(ケ) 流動性	
(コ) 公開市場操作	(サ) 貨幣供給量	(シ) 政策金利	
(ス) 流動性選好理論	(セ) 貨幣供給量	(ソ) 利子率	

**問 2. 配点 4, 4, 2 × 6, 4**

問 2

I	GDPとは、一定期間において、一国内で生産される財・サービスの付加価値の合計をいう。	24			
II	GDPには余暇の量や質、生活環境の良さ、国民の健康の価値などが反映されない点で、社会的福祉の尺度として不十分な面がある。				
III					
(1)	103 兆円	(2)	8 兆円	(3)	526 兆円
(4)	478.7 兆円	(5)	1.7 %	(6)	1.0 %
IV	実質GDPは、経済の財・サービスの生産を評価するのに特定の基準年の価格を用いるのに対し、名目GDPは、経済の財・サービスの生産を評価するのにその期の価格を用いる。				

**問 3. 配点 4, 2, 4, 4 × 2, 6**

問 3

I	自国通貨と他国通貨の外国為替市場における交換レートをいう。	24
---	-------------------------------	----

II

(1) 購買力平価説

(2) 同一時点における同一の財の価格は、各国で同一になるはずであるとの仮説をいう。

(3) 

①	67.4	円/ドル
②	83.8	円/ユーロ

(4) 各国の生産には非貿易財やサービスも多く含まれ、またたとえ貿易財であっても自国で生産された財と他国で生産された財とが完全代替とは限らないため。

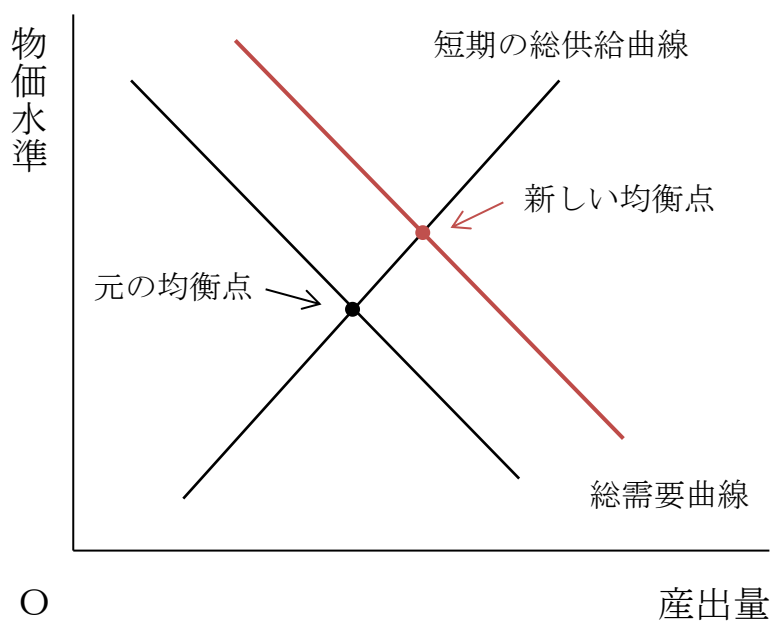
問4. I 配点 1×9, 8, 5

問4

(A) <span style="color: red;">総需要・総供給モデル</span>	(B) <span style="color: red;">右下がり</span>	(C) <span style="color: red;">垂直</span>
(D) <span style="color: red;">右上がり</span>	(E) <span style="color: red;">利子率効果</span>	(F) <span style="color: red;">物価水準</span>
(G) <span style="color: red;">期待</span>	(H) <span style="color: red;">自然産出量</span>	(I) <span style="color: red;">硬直賃金理論</span>

22

II (1)



**【説明】**  
投資ブームは総需要曲線を右方シフトさせるので、短期での経済の新しい均衡では、産出量（生産量）、物価水準とも元の均衡と比較してより高い水準となる。

(2) 企業による生産設備に対する支出（投資）の増加は一国全体の物的資本を増加させるので、長期の総供給曲線を右方シフトさせる。